

# 体験型の 食育推進活動

を応援します！

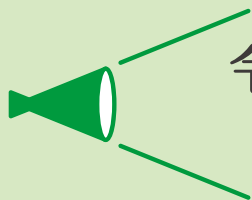
～ふるさとの農林漁業体験支援事業について～



- 東日本大震災及び原発事故の影響により子どもを対象とした体験型の食育推進活動が減少しているほか、生活環境の変化により、県民の健康指標の悪化や、地域社会の活力の低下が懸念されています。
- そのため、県内の子どもやその保護者が農林漁業体験等を通じて、豊かで健康的な食生活を実践するために、食育や地産地消に関する活動を行う団体に対して支援しています。



福島県



# 令和4年度は、14の食育推進活動を支援しました。その一部の事例を紹介します!

稲刈り  
畜産体験

## 稲刈り体験バスツアー・畜産体験バスツアー

特定非営利活動法人わくわく

活動場所／県南地区 参加者／37名うち子ども23名

### 体験概要

稲刈りを通し食のありがたさを実感してもらい地産地消の意識醸成の機会としました。刈り取った新米でおにぎりづくり体験を行いました。

畜産体験を通じ生産者との交流を図るとともに、原発被害からの復興講話を聞くことで困難に立ち向かい復興を遂げたふくしまの生産者の力を感じてもらいました。また、地元食材を子ども自らが選んで購入し調理を行いました。



- 参加者の声
- ・農家や生産者の工夫や苦勞を知り改めて感謝の気持ちを持てた
  - ・放射能の説明をされていてとても良かった。福島とは切っても切れないことだと改めて感じた
  - ・スーパーで野菜の産地を見たい!

調理  
体験

## いわき地区生活研究グループ連絡協議会親子料理教室

いわき地区生活研究グループ連絡協議会

活動場所／いわき地区 参加者／23名うち子ども13名

### 体験概要

地元農林水産物を使ったいわきの郷土食等の調理体験を通じ、食文化や地産地消、健康的な食のあり方、料理や食事の魅力を伝えました。

また、郷土食のレシピを配布し、家庭でも実践できるようにしました。



- 参加者の声
- ・普段のメニューとは、ひと味違ったメニューを教えていただけ、とても貴重な体験だった。
  - ・いわきの郷土料理を知ることができて良かった。
  - ・家でも作ってみたい。

漁業  
収穫体験

## 常磐もの釣り船体験 いわき野菜収穫体験 親子体験ツアー

株式会社ワンダーファーム

活動場所/いわき地区 参加者/24名うち子ども14名

### 体験概要

「常磐もの」を使った彩りの楽しいカラフル魚拓体験や「いわき野菜」の収穫体験を通して、放射性物質に関する取組や生産者がどのように努力して漁獲や作物を育てているかについて親子で知ってもらえる機会とし、未永くいわき産農林水産物に愛情を持ってもらうことを目的としました。



### 参加者の声

- ・普段なかなかできない素晴らしい体験ができた。
- ・子どもも大人もとても充実した実りある体験ができた。
- ・人生のチカラになるような体験ができた。

収穫  
調理体験

## 地元の野菜をおいしく健康に! ふくしま親子収穫体験会

株式会社福島中央テレビ

活動場所/県北地区 参加者/22名うち子ども11名

### 体験概要

里芋やネギ等の農産物の収穫体験や「だし」を使った郷土料理づくり体験を通じて、地産地消による「地元愛」を育み、また、「だしのうま味でおいしく減塩」の体験学習により、おいしく減塩することを学んで頂き健康増進の機会といたしました。



### 参加者の声

- ・里芋の穴掘りが楽しかった。
- ・いつも食べない野菜を残さず食べていた
- ・野菜によって収穫の方法が違ったり、調理で包丁を使ったり初めての経験がたくさんできて大満足!

体験  
ツアー

## 地元生産者とふれあい学ぶ! 食育学習バスツアー

会津トラベルサービス株式会社

活動場所/会津地区、南会津地区  
参加者/42名うち子ども25名

### 体験概要

県産農産物を通じた活動の機会を創造することにより、体験活動を増やし、子ども達が食育や地産地消について学ぶ機会を提供することを目的としました。

収穫・農作業体験やそば打ち体験など子ども達が楽しみながら学べるツアーとしました。



### 参加者の声

- ・初めての体験がいっぱいできた
- ・自分で収穫した野菜は全部食べた
- ・またツアーがあったら参加したい
- ・子どもだけでなく大人の学びもある楽しめるツアーだった

稲刈り  
農家視察

## ふたば未来学園高校食育体験ツアー・2022年稲刈り体験

一般社団法人葛力創造舎

活動場所/相双地区 参加者/21名うち子ども18名

### 体験概要

放射能汚染により、子どもが農業と触れる機会が少なくなりました。

双葉郡の高校生を対象に、農家視察と稲刈り等を通して、農作業の大変さや生産者の思い、放射線に関する知識、双葉郡の郷土料理についての食育活動を行い、健康増進や文化の継承、地域活力の回復を図りました。



### 参加者の声

- ・葛尾村の郷土料理を食べるだけでなく作ることが出来て楽しかった
- ・野菜の収穫の体験をすることが出来て、その場で取れたてを食べられて良かった
- ・星空を見ることが出来て良かった
- ・餅つきが楽しかった

工場見学  
精米体験

## 親子で行く精米工場見学&キャラ弁づくり体験

株式会社東北むらせ

活動場所/会津地区 参加者/28名うち子ども14名

### 体験概要

「福島県産のお米をもっと食べよう」をテーマに工場見学を通して、お米の生産から店頭へ並ぶまでの流れを学ぶとともに精米体験、キャラ弁づくり体験により福島県産米のファンづくりを行いました。



- 参加者の声
- ・精米体験は疲れたがとても楽しかった。
  - ・お米の収穫から流通までの仕組みが分かった。
  - ・精米工場の大きな機械に感動した。
  - ・これからはお米に感謝して食べたい。

収穫  
稲刈り

## 親子で学ぼう! 農業体験

JA福島さくら たむら統括センター

活動場所/県中地区 参加者/72名うち子ども38名

### 体験概要

夏季・秋季2回の活動で、野菜収穫体験や稲刈り体験を通して、農業への興味や理解、食への関心を高めていただき、普段私達が食べている野菜やお米がどのように作られているかなどを親子で学んでいただきました。



- 参加者の声
- ・ミニトマトを食べない孫が、トマトをとりながら、おいしそうにほおぼっていました。
  - ・稲刈りを、やった事が無かったので、子供は楽しそうでした。
  - ・絶えず生産してくださる方々には感謝しかありません。
  - ・淡色野菜、初めて知りました。

## ふるさとの農林漁業体験支援事業について

次の①から③の内容を全て取り入れた県内の子どもやその保護者を対象とした食育推進活動を行う団体に対して支援を行っています。

### ① 体験・交流を通じた県産農林水産物の生産・流通等の理解促進活動

農林漁業体験、市場見学、料理実習やそれらに携わる人との交流など、地域の特色を生かした魅力ある体験型の食育推進活動を実施。

### ② リスクコミュニケーション活動

県産農林水産物の安全安心の取組や放射性物質への正しい情報及び知識を身につけるための活動を実施。

### ③ 体験・交流を通じた県産農林水産物の生産・流通等の理解度評価

① 及び ② の参加者を対象に、県産農林水産物の生産・流通等に関する理解度についてアンケート調査を実施。

#### ※留意事項

- ・各取組の対象者の過半数は18歳以下の子どもであること
- ・補助の上限額は110万円
- ・東日本大震災により避難している子どもが活動に参加できるよう配慮された事業計画を優先的に採択



その他、本事業については、以下までお問い合わせください。

#### お問い合わせ先

福島県農林水産部農産物流通課

〒960-8670 福島県福島市杉妻町2-16

TEL : 024-521-7354 MAIL : ryutsu.aff@pref.fukushima.lg.jp

ホームページ : <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36035a/>